日本の伝統文化を研究

日本の宿懇話会　若手経営者メンバーに

委員会設立の趣旨を述べる佐藤代表世話人

「人気温泉旅館ホテル250選」（観光経済新聞社主催）入選旅館の経営者有志らで組織する「日本の宿懇話会」（佐藤義正代表世話人＝岩手県・湯守ホテル大観）は8月27日、東京の観光経済新聞社会議室で会合を開き、今後の活動方針を協議した。次世代を担う若手経営者らをメンバーとする委員会で、日本の伝統文化を約1年間研究し、成果物を作る方針を決定。委員会メンバーの柊家旅館（京都市）で研修会を開くことも決めた。

懇話会は「日本文化を凝縮した伝統的な旅館の品質を守り、後継者の育成について研究する方針を決定。その一環で、委員会メンバーの柊家旅館で日本の伝統的なサービスについて研修することを決めた。研修は11月13、14日に静岡県稲取温泉の稲取銀水荘で開く第4回例会までに行う予定。

委員会メンバーは次の各氏（敬称略）。

大西希（北海道・あかん遊久の里鶴雅）▽佐藤康（岩手県・湯守ホテル大観）▽山口裕司（山形県・ほほえみの宿滝の湯）▽佐藤勘三郎（宮城県・伝承千年の宿佐勘）▽武田和香子（千葉県・鴨川館）▽矢崎道紀（山梨県・下部ホテル）▽加藤晃太（静岡県・稲取銀水荘）▽瀧康洋（岐阜県・水明館）▽城島舞（京都府・柊家旅館）▽奥村勇太（愛媛県・大和屋本店）▽豊田桐子（長崎県・ゆやど雲仙新湯）▽下竹原利彦（鹿児島県・指宿白水館）

懇話会は以前、「きくや」という旅館を温泉街から少し離れた場所で営業していたが、同温泉街に移転し、オープンした。1泊2食付き料金は開店を記念し、12月まで（年末除く）平日1万9800円、休前日2万2千円。

客室は約40平方㍍で、源泉掛け流しの半露天風呂を併設。地元の北欧家具職人が作った木製シャンデリア、テーブルなど温かみのある北欧テイストの空間を演出。40代以上の夫婦や親子、友人同士、ミドルシニア層をターゲットに据える。

「お祝いや記念日に親戚などと一緒に過ごす3部屋1棟貸しも予定している」という。

半露天風呂

板室に新しい旅館

11年ぶり開業　1日3組限定　湯宿きくや

板室温泉（栃木県那須塩原市）にこのほど、1日3組限定の旅館「湯宿きくや」がオープンした。那須塩原市観光局によると、同温泉で宿泊施設が新築オープンするのは11年ぶり。

旅館はもっと良くなるべきだ

旅館経営 タテ・ヨコ・ナナメ　佐野 洋一　＜103＞

賃金上昇への圧力が高まっている中で、これにどう対処していくかというチャート図を前回掲げ、いくつかの対策方向を示した。

このうち、「人件費総額の増大を抑えたい」とする場合の対策方向が、「労働」あるいは「処遇」に関わる領域となる。そしてこれを「総労働時間を減らす」方向で考えるなら、「業務を見直す」「働き方を変える」「省力化投資」のいずれかだ。

だが総労働時間を減らすのが難しいとなれば、賃金の配分を変えるしかない。「賃金制度の再設計」である。

賃金制度の再設計

給与の根幹となるのは「基本給」だ。その中身は、日本の企業では一般に「仕事的要素（仕事給）」と「属人的要素（属人給）」の二つで構成される。「仕事給」としては「職務給」―具体的な仕事（職務）の内容によって決められる給与と、「職能給」―職務を遂行する能力を評価、格付けすることによって決める給与があり、そのどちらかである場合と、併用されている場合とがある。他方、「属人給」とは、年齢、学歴など、仕事とは直接関係のない要素によって計られるもので、最も一般的なモノサシは勤続年数（年功）だ。これらは時間給においてもおおむね同様のことが言える。もっとも大半の旅館では、そもそも基本給を定める規定がなく、「ドンブリ給」となっているのが実態ではないだろうか。

給与にはこの他にさまざまな「手当」なども含まれるが「賃金制度の再設計」新しい制度に照らして「昇給格差」が生ずること、能力の劣る人や働きの悪い人は昇給なし、場合によっては降給もあることを予告する。そのうえで、1年から3年ぐらいかけて徐々に制度に整合させていくのである。そしてつらいが大事なのは、改定の都度、理由を話して聞かせることだ。それでも、やがて調整の過程では不服とする人も現れるだろう。もしかすると退職者も出るかもしれない。そういうことを初めから覚悟しておく必要がある。

これはあくまでも一つの例である。他にもやり方はあるだろうが、いずれにせよ厳しい断行が迫られる。

さて、以上は「人件費総額」「総労働時間」のいずれも変えない場合の方策として述べたものだが、そうでない場合でも、今後の経営を組み立てていく上で、極めて大切な部分である。ぜひ検討していただきたい。

（株式会社リョケン代表取締役社長）

※隔週連載

山崎まゆみの「ちょっとよろしいですか」

第25回

〝タトゥーフレンドリー〟

来年の東京オリンピックパラリンピック、目前に迫った2019年ラグビーワールドカップ開催の前に、これまで本連載で触れてきませんでしたが、タトゥーが入った外国人観光客の入浴について考えてみたいと思います。

外国人がファッションやアイデンティティーで入れるタトゥーと、反社会的勢力をほうふつとさせる日本の入れ墨とは非なるもの。温浴施設側で、外国人のタトゥーと日本人の入れ墨を区別して入浴制限するのはとても難しいことでしょう。

この話題は、物事の善悪で語れないし、ルールづくりも難しいのが本音です。

人観光客数も少なく、「インバウンド」という言葉が業界用語だった頃の話です。

それから時がたち、タトゥーが判断することでトラブルが起きた話は聞きません。

こんなエピソードを聞いたことがあります。某リゾート施設を全国に展開している社長が、就任した時に一番最初にやった仕事が、一部の施設で「入れ墨OK」ということだったそうです。その結果、その温浴施設は入れ墨が入った方に大人気となりました。同時に他のお客さまからのクレームが殺到し、結局、入れ墨が入ったお客さまをお断りする決断に至ったそうです。

この出来事は2000年代前半のことです。まだ訪日外国人観光客も少なく、ランドのマオリの女性が宗教上の理由で顔にタトゥーを入れていたために、入場を断ったことでしょうか。この頃からラグビーやサッカーのW杯のテレビ中継画面で選手たちが施したタトゥーを目にするようです。

機会が増え、ネットでも話題となりました。タトゥーに貼るシールが市販され始めたのもこの頃。ただシールを用意している施設に尋ねてみると、多くは利用されてないようです。

最新の動きも調べてみました。大阪の宿泊施設では「和モノ」「洋モノ」によって分けて入場制限をしているところもあるようですが、施設側が判断することでトラブルがなければいいなと思っています。

個人的には、ここが着地点という言葉。東京都内の銭湯で使われ、外国人の多い温泉地でも愛用され始めました。

この言葉は外国人の入浴制限がないことを表記していました。

「タトゥーフレンドリー」言葉の響きはとてもいい。「タトゥーOK」というよりも、よほど外国人を歓迎している姿勢が見えます。

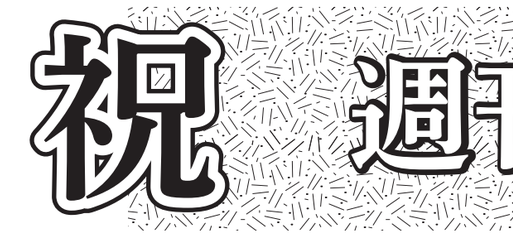
これまでの歩みは、日本人が外国人が施すタトゥーを理解するための過程だったような気がします。

日本人のお客さまの理解と容認が外国人観光客への好感につながれば、これほどいいことはありません。

（温泉エッセイスト）

※月2回掲載

旅館ホテル・施設・団体



3県応援クーポンで九州北部大雨を支援

ゆこゆこ

温泉宿泊サービスを提供するゆこゆこホールディングス（東京都中央区）は8月30日、8月28日に発生した九州北部大雨の被災地支援企画として「福岡・佐賀・長崎 応援キャンペーン」を開始した。福岡県、佐賀県、長崎県の宿泊施設を予約した人に、宿泊料金から2千円を割り引きする。温泉地のイメージ回復や観光客の誘致につながる支援を行う。9月15日まで。

キャンペーンでは、今回の大雨で被害の大きい地域が集中している福岡県、佐賀県、長崎県の3県で使用可能な特別クーポンを発行する。キャンペーンで予約できる宿泊施設は、同社で安全性を確認している施設。クーポンの詳細は、同社のフェイスブック、ツイッター、ゆこゆこネット、ゆこゆこ会員のメールマガジンでも配信し、支援を呼び掛けている。

「被災されたすべての皆さまに心からお見舞い申し上げ、1日も早い再建を心よりお祈り申し上げる」と同社。

同社はこれまでも、今年6月の大雨で被災した鹿児島など、災害を受けた地域への支援を実施している。

国産150グラムを使用

温泉峰原 美ヶ翔

10月限定、松茸尽くし会席プラン

美ヶ原温泉翔峰（長野県松本市、小林史成社長）は、松茸を150㌘使用する秋の味覚会席「秋の味覚会席　国産松茸尽くし会席プラン」を販売している。10月限定で、1日2組のみ受け付ける。松茸は国産を使用するなど、秋の味覚を提供する。

長野県は、松茸の生産量国内第1位を誇り、松茸料理を提供する店が数多くある。国産松茸は、収穫から調理までの時間が短く、香り豊かな松茸を楽しめると好評だ。

プランでは国産松茸をふんだんに利用。「松茸の土瓶蒸し」のほか、「松茸の天婦羅」「信州和牛と松茸のすき焼き」「松茸御飯」など、松茸の全てを味わえる内容となっている。

また、「焼き松茸」は翔峰の料理人が目の前で焼き上げ、風味豊かで絶妙な焼き加減の松茸を味わえる。

このほか、秋の特別会席として、「特選和牛石焼ステーキ」「信州和牛しゃぶしゃぶ」「牛ローズ炙り寿司」など、柔らかで上品な味が特徴である長野県産の特選信州和牛をふんだんに使用した「特選和牛尽くし特別会席プラン」も販売している。

問い合わせは、翔峰☎0263（38）7755まで。

秋の味覚会席　国産松茸尽くし会席

よその旅館ホテル

ほどあいの宿 六峰館

（福岡県・原鶴温泉）

田中 亮次さん

Q&A

泉は各宿が源泉を持っているので、各宿でいろいろなダブル美肌の湯を楽しめます」

――浴場施設は。

「露天風呂は展望庭園と檜、内風呂は竹炭と檜の計4施設。毎日、男女を入れ替え、全ての風呂を満喫できるようにしております。露天風呂や檜内風呂の付いた客室が11室あって、ほかの客室よりも人気があります」

――最近の話題は。

「7月末にリニューアルをして、バリアフリー対応の部屋を2室設けました。段差がなく、浴室には手すりやスロープが付いているので、車いすでも利用できます」

――料理は何を。

「四季ごとにメニューを替えています。これからの秋のメニューでは、せいろ蒸しや松茸の土瓶蒸しをお楽しみいただけます。11月からは定番のフグ料理も始めます」

――入り込み状況はどうですか。

「最近は長雨や台風の影響でお客さまがやや減っています」

――外国人客は多いのですか。

「元々少なく、お客さま全体の3～5％ぐらい。日韓問題により韓国人客が減っていますが、大きな影響はありません」

――今後の課題は。

「お客さまの年齢層の幅を広げることと、お客さまのニーズに合ったサービスの提供です。バリアフリー対応や温泉付き客室もその一環で、高齢者や障害者などにやさしい宿を目指しています」

【32室、1泊2食付き1万3500円から、露天風呂付き客室は2万2500円から（各税別）】

筑後川と耳納連山の眺望

祝 週刊 観光経済新聞 創刊 3000号

T-LIFE ホールディングスは
「Travel makes life fun」（旅が人生を豊かにする）
をテーマに協定連盟と一体となり
お客様に必要とされ、社会に貢献する企業を目指します。

LIFE HOLDINGS
Travel makes life fun

T-LIFE ホールディングス株式会社
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 1-2-8
ニッケ東京ビル
TEL　03-6891-9945

LIFE HOLDINGS
T-LIFE 協定連盟

T-LIFE 協定旅館ホテル連盟
T-LIFE 協定施設運輸連盟
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 1-2-8
ニッケ東京ビル
TEL　03-6280-9023